

PTA通信



藤崎工業高等学校
<http://www.nirasakith.kai.ed.jp/>
 E-Mail: info@nirasakith.kai.ed.jp

2016. 2.25 Vol. 12

《編集・刊行》
 藤崎工業高等学校PTA
 《発行責任者》
 PTA会長 岩下 百合香

NewsPaper of PTA (Parent-Teacher Association) NIRASAKI TECHNICAL HIGH SCHOOL

『和』



寒さの中に春の気配を感じる3月。旅立ちの季節になりました。3年生の皆さんご卒業おめでとうございませう。そして一段とたくましくなった1、2年生。充実した高校生活は送れましたか？

保護者の皆様には多くのPTA行事にご参加いただきまして皆様のご協力、ご尽力、誠に感謝申し上げます。

藤崎工業高校のPTA本役員の活動を3年間させて頂きました。生徒と保護者が学舎でふれあうことは、小学校や中学校ではよくある事ですが、藤工PTA行事は多数あり、沢山の皆様と交流できる事に感動しました。

自分自身も初めは不安な気持ちで役員になりましたが、PTA活動の中でいろんな方と知り合い、

藤崎工業高等学校
 PTA会長 岩下百合香

子育てに対する思い、不安を共有する仲間が出来ました。今はネット社会などと言われ、人とのコミュニケーション不足が取り沙汰されており、実際〔人と話すよりメールの方がいい、一人が楽〕と交流を好まない若者達が増えたように感じます。まずは私達保護者が自らコミュニケーションを心掛ければ子供達に反映するのではないのでしょうか？子供にとって、この3年間は社会に出る前の貴重な時間だと思います。それは親にとっても大切な3年間です。できるだけ学校に関わるためにも、1、2年生の保護者の皆様におかれましては、お仕事でお忙しいとは思いますが、役員になる事をおすすめします。校訓である“和”は先輩を敬い後輩を慈しみ互いを尊重し、支え合う心だと理解しています。息子と共にこの言葉“和”を学ばせて頂きました。ありがとうございました。これからも皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

甘利山登山強歩大会

保健体育委員長 松延真弓

10月29日(木)第48回甘利山強歩大会が開催されました。

木々の紅葉も進み前日の冷え込みで肌寒いスタートとなりましたが、生徒の皆さんは元気よく力強いスタートを切りました。

男子は甘利山山頂往復30km 女子は樫池までの往復20kmコース、高低差のある過酷な強歩大会。その中でも多くの生徒がゴールし上位入賞を目指して走り続ける者、昨年より順位を上げる為黙々と走る者、仲間どうして励まし合いながら進む者、皆、それぞれの目標で頑張る姿に大変感動しました。

生徒たちは、この行事を通して多くの事を学びどんな困難でも、乗り越えて行ける勇気を持って社会に巣立って行ってほしいと思います。

大会が終わった生徒たちの顔には疲労の様子も

ありましたが、達成感に満ちた清々しい姿でした。大会の運営にあたり事故も無く無事に行事を終えた事、教職員ならびにPTA役員の皆様には深く感謝申し上げます。ご苦労様です。ありがとうございました。



PTA活動報告 (抜粋)

- 4月16日 **第1回PTA役員合同会議**
新役員57名が出席し、平成27年度第1回PTA役員合同会議を行いました。PTA総会に向けてPTAの年間行事について打合せをしました。
- 29日 **PTA総会 各学年部会 授業参観 クラス懇談会**
多数の保護者の皆さんが参加。昨年度事業・決算報告等、また今年度新役員や事業計画・予算の各案件等を全て承認していただきました。
- 5月22日 **県高P連定期総会 (敷島総合文化会館)**
- 25日 **クラブ後援会総会 (本校視聴覚室)**
- 6月1日 **第1回PTAあいさつ運動**
～5日 第1回のあいさつ運動を実施しました。生徒会本部役員の生徒とPTA会長・副会長・各クラスの女性委員・広報委員・保健体育委員の延べ48名の保護者の方々に参加していただきました。
- 6月4日 **第1回葦工活性化合同会議**
本校を活性化し、地域に親しまれる学校にすることを目的に「生徒代表」「PTA役員」「教員代表」の3者が一同に会して、話し合いを行いました。葦工の未来像や今抱える問題の提起・意見交換で有意義な会となり、今後の継続開催を決定しました。
- 14日 **葦崎工業高校同窓会総会 (本校文化ホール)**
- 20日 **PTA研修会**
山寺慶一先生・葦崎市地域包括センター保坂さんを講師に招いて「認知症サポーター養成講座」の講演を開催し74名の保護者が参加しました。高齢化社会になり、私たちにとって身近で現実的な問題になってきた「認知症」について事例をもとに分かりやすく話していただきました。講演後のアンケートには「認知症についての考え方や心構えなど大変参考になりました。」等の感想が多数寄せられました。
- 7月1日～
9月30日 **交通事故違反03ヶ月運動**
期間中の火・金曜日に生徒指導部の保護者にご協力を頂き、通学路での交通マナー・安全指導を先生方と一緒に行いました。登校の様子を見ることができ有意義でした。
- 7月8日 **第61回関東地区高等学校PTA連合会大会 (茨城大会)**
～9日 「育原点に戻って考えよう ～生きる力を育み、自己実現を支援する～」をメインテーマにつくば市にて開催されました。本校からは逆瀬川教頭先生、志村・小澤副会長の計3名が参加しました。
- 8月19日 **第65回全国高等学校PTA連合会大会 (岩手大会)**
～21日 大会メインテーマ「未来圖からの風をつかめ！」サブテーマ「新時代を担う君たちと共に」をスローガンに盛岡市内の岩手産業文化センターをメイン会場として活発な意見・情報交換が行われました。本校からは、手塚校長先生、岩下PTA会長、黒澤・篠原副会長の計4名が参加しました。
- 9月11日 **第2回葦工活性化合同会議**
検討事項として「学園祭の入場制限や学園祭の日程の見直し」、また、「通学時のイヤホン・家庭や学校でのスマホ使用」について意見が交わされました。
- 10月2日 **第2回PTA役員合同会議**
役員51名が出席し葦工祭のPTA餅つき・PTAバザーと甘利山登山強歩大会の豚汁作成及びPTAあいさつ運動の打合せをしました。
- 9日 **PTA餅つき (葦工祭1日目)**
早朝から50名の保護者・OB5名の協力により、700食分を生徒、先生方や来校者の皆さんに食べて頂きました。開会式のイベントとして、ステージ前で3臼を手塚校長先生、岩下PTA会長、萩原クラブ後援会長を先頭に各クラスの代表者が杵を振りました。生徒達は、初めての餅つきに満面の笑みがこぼれていました。
- 10日 **PTAバザー (葦工祭2日目)**
37名の保護者・OB7名によりバザーが実施されました。開店前から行列が出来る程の盛況で、保護者の皆様よりご協力いただきました遊休品約800点は開店1時間で完売しました。今年の売り上げは139,500円でした。改めて皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。
- 29日 **甘利山登山強歩大会 (豚汁、監察・巡視)**
43名の保護者・OB4名の御協力により、700食分の豚汁を作りました。ゴールした生徒や教職員に振る舞って大会を支援かつ盛り上げました。また、保健体育委員17名による監察・巡視を樫池と甘利山展望台で行いました。天候にも恵まれ、昨年度を超える完走率98.7%となりました。
- 11月2日 **第2回PTAあいさつ運動**
～6日 朝の寒風の中、PTA副会長・各クラス委員長・生徒指導委員の延べ26名にて実施しました。朝の元気なあいさつで気持ちのいい一日が始まります。
- 12月4日 **PTA広報委員会**
当PTA通信Vol.12発行に向けての編集会議を実施しました。
- 12月10日 **PTA保健委員会**
本校生徒の健康状況、白倉薬剤師さんからの資料「正しい医薬品の使い方」等について報告がありました。岩下会長ほか保健体育委員4名が参加しました。
- 2月9日 **第3回葦工活性化合同会議**
1月18日予定のこの会議は、雪のため学校が休校になり延期されました。今年度の重点課題の実施状況・反省と次年度への課題提起がされました。



《PTA定期総会》



《交通安全指導》



《関東高P連大会》



《全国高P連大会》



《甘利山登山強歩大会》

編集

後記

緊張で迎えた入学式からあっという間の三年間でした。役員を通じてたくましくなった子ども達を間近に見てとてもほほえましく思いました。

皆様のご協力のもとPTA通信が無事発行でき、心より感謝いたします。

PTA広報委員長 秋山智美

あいさつ運動

PTA副会長 横内 満美

今年度より役員となり初めて挨拶運動に参加させて頂きました。

まず感じたのは、野球部をはじめ生徒さん達の挨拶がとても気持ちいいこと。

私達の姿が見えるやいなや大きな声と笑顔で挨拶してくれる子がたくさんいました。気持ちのいい挨拶ができるというのは一つの特技であり、財産だと思います。相手に与える印象がいいとわかっていても簡単にできるものではありません。

心理学では第一印象は最初の10秒以内に決まってしまうと言われていています。初対面で挨拶を交わす間に脳はその人の印象を決めてしまうそうです。その印象は後から覆すことができない程、しつこく心にとどまってその後の人間関係を大きく左右します。つまり挨拶＝第一印象＝人間関係を作る大切な土台なのです。

私自身、挨拶運動に立ち、韮崎工業高校の生徒さんはみんないい子に違いないと感じています。そしてこの運動を通してその意義や大切さを知ることができました。私がしてもらったように今度は率先して挨拶をして、その大切さを伝えていきたいです。



韮工祭餅つき

女性部長 篠原さゆり

朝から清々しい陽気という絶好の天候に恵まれ、10月9日韮工祭一日目の餅つきが実施されました。

途中もち米が予定時間に蒸しあがらないというアクシデントが発生したり、餅一つ一つの大きさが均等に出来上がるだろうかと、不安もありましたが役員の皆様の手際良さに助けられ、無事にきなことあんこのペア700パックの完成となりました。

開祭式でのセレモニーも杵のつき手、餅の手返しと相方のタイミングも絶妙なもので会場も大いに盛り上がり我々親にも、又子供達にとっても忘れられない思い出となった事と思います。

この餅つきに携われた事、皆さんと楽しく進められた事、そして滞りなく終えられた事は、単に早朝より御協力頂いた諸先生方、役員の皆様方と、事前準備に何時間も費やして下さった執行部の皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



韮工祭PTAバザー

女性副部長 小澤 眞季



今年は、まず品物の多さに驚きました。去年より倍以上の品物でした。当日は、多くの役員さんのお手伝いでスムーズに準備が終わり、いざバザースタートです。開始30分も前から扉の向こうには大勢のお客様が、いつかいつかと開店の時を待っていて下さいました。開店と同時に会場は大勢のお客様で埋め尽くされました。300円均一の洗剤の詰め合わせは、あっという間に完売。レジには長蛇の列。袋詰めの役員さんも大忙し。とても活気のあるバザーになりました。

ご協力頂いた皆様に感謝すると共に、来年もPTA活動であるバザーへのご協力を宜しくお願い致します。

PTA 活動を振り返って

PTA副会長 大木 純

PTAの活動は、4月の入学許可式の慣れなあいさつから始まり、その後、生徒とのあいさつ運動、前日の準備も含めた韮工祭と甘利山強歩大会など、多くの行事で行なってきました。その中で気づいたことは、PTAの役員会や校長先生をはじめとする先生方、生徒会の皆さんとの話し合いを通じて、生徒と学校、そしてPTAとの結び付きの強さと連携の良さで、時間をかけて積み上げられたもの

だと感じています。これに、保護者の皆さんの協力が加わって、生徒の学校生活の支えになっているのだと思います。保護者として、PTA活動に参加することで、学校や生徒との一体感が生まれた一年でした。

保護者の皆様には、PTA活動へのご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。また、今後ご協力をよろしくお願いいたします。

特集 意見交換から行動へ

27年度「蕪工活性化合同会議」の報告

「蕪工活性化合同会議」に参加して

PTA副会長 黒澤貴子

早いものでPTA副会長という役を頂いてから1年が経ちました。

さまざまな活動に参加させて頂き、校長先生をはじめとする先生方や生徒の皆さんと触れ合う中で私が最も興味深かったのは先生方、生徒会、PTA役員三者で「魅力ある学校づくり」をテーマに様々な意見交換をする蕪工ならではの会議！「蕪工活性化会議」です。今年度も「蕪



工祭」「あいさつ運動」を中心に話し合いました。

蕪工祭では、安全・安心に配慮しつつも他校の生徒が入場できるように規制を緩和すること、吹奏楽部・太鼓部の演奏を昨年以上に聴いてもらうためにPTA合唱を中止すること等が決まりました。その結果、安心・安全で、生徒の皆さんの気持ちがたくさん詰まった蕪工祭になったと思います。

あいさつ運動は昨年に引き続き年2回開催されました。春には戸惑いを隠せなかった生徒さんも秋には笑顔であいさつしてくれるようになり、改めてあいさつの大切さを感じると共に心が温かくなりました。

「魅力ある学校づくり」の一員として活動したこの1年は、私にとって大変貴重で充実した1年になりました。ありがとうございました。

最後に、保護者の皆様へのPTA活動に対するご理解と協力を頂いたことに深く感謝致します。ありがとうございました。

認知症サポーター養成講座～PTA研修会～

広報委員 小倉ちほ

今回のPTA研修会は、医療法人グループホーム武田の里法人管理者山寺慶一先生、蕪崎地域包括センターの保坂さんを講師に招き行われました。

山寺先生の話聞きながら、勉強していくと、認知症は脳のいろいろな部分の指令に不都合が生じて、様々な症状(病気)を引き起こすことが分かりました。その中でも50%を占めるアルツハイマー病について山寺先生の実体験で「うちの嫁はメシをくれん」と言うお年寄りがあります。ご飯を作ってあげているし、看病だってしているのに酷い言われよう。しかし、それは「信頼の裏返し」なのです。」という話がありました。私のおばあちゃんもそうだったんだと何度も話に頷きました。暑いのに真冬の格好をしたり、冷蔵庫を一日中何度も開け閉めしたり、また、同じ頃、認知症を発病した祖母の妹から「真珠のネックレスがない」と一日に何度も電話が来て、認知症同士の会話、私への確認にイラついた事もありました。認知症の祖母とそれを理解できなかった私は、毎日が口ゲンカのバトルのようでした。そんな祖母も12年前に亡くなり、今思えば、あのときはあんな態度しかとれなかったけれど、もしあの時認知症について話を聞く機会があり、おばあちゃんが病気である事

を理解できていたら、もう少しおばあちゃんに寄り添うことができたかもしれないと思いました。記憶を失っていく事は誰しも怖いと思います。けれども、楽しい思い出を少しでも一緒に作ってあげられたら、今認知症と認定を受けているおじいちゃん、おばあちゃんは笑顔でいられるのかなと思いました。改めて考えさせられ、勉強になった一日でした。

